― 株式会社LASSIC

テレワークは制度ではなく「経営戦略」だ――
鳥取から全国へ、LASSICが切り拓く人材活用の新時代



業種：情報・通信業
従業員：280名(2026.4.30)
課題：
育児/介護、採用と定着、
男女参画、地域活性化

2006年に鳥取県で創業した株式会社LASSICは、ITによる地方創生とテレワーク・リモートワークの普及に力を注いできた企業です。
IT受託開発からスタートし、現在はリモートワーク特化型エージェントサービス「Remogu（リモグ）」「リラシク」を軸としたIT人材ソリューションを展開しています。
働き方や働く場所、組織（雇用形態）の垣根を超えた働き方「ボーダレスワーク」の社会実装を推進し、多様な人材が自分らしく活躍できる環境づくりに邁進しています。
2026年、東証TOKYO PRO Market上場を果たしました。（社名は「～らしく」という言葉に由来し、「人・企業・地域の『らしく』の実現をサポートする」という創業の精神が込められています。）

■メッセージ動画



▶再生
https://www.youtube.com/watch?v=sZiJrr5FYfo

■ 1．挑戦
創業ストーリー　地方に仕事がないなら作ればいい
――「鳥取発ニアショア」から始まったLASSICのボーダレスな挑戦

鳥取県での創業を決意した動機は極めて明快でした。2006年12月。東京の大手人材派遣・人材紹介会社に勤めていた創業者が、故郷である鳥取県の人口減少と、仕事不足による若者の県外流出に危機感を抱き、「地元に若者たちの雇用を創出する」という想いからUターン創業したのが始まりでした。
国内の人口最少県である鳥取で成功モデルを作れば全国の地方都市に展開できると考え、顧客の所在地から離れた場所で遠隔でシステム開発を行う「リモート開発」に着目しました。東京に営業拠点を置いてITシステムの受託案件を獲得し、開発拠点の鳥取で遠隔対応する「国内ニアショア開発」モデルを構築。「海外オフショア開発」以上の高品質な開発体制を全国に先駆けて展開していきました。これにより、リモート（遠隔）でプロジェクトをマネジメントし業務を遂行するノウハウを磨き、蓄積しました。



＜鳥取県の歴史的建造物である「旧・鳥取高等農業学校」の一部をリノベーションした本社＞

■ 2．独自戦略
企業ビジョン・「ボーダレスワーク」とは？
――多様な人材が全国から集う、場所にも働き方にも縛られない組織づくり

LASSICでは、働き方・働く場所・組織（雇用形態）の垣根を超えた働き方を「ボーダレスワーク」と定義しています。大手企業との採用競争が激化する中、単なる条件勝負ではなく、テレワークやハイブリッド勤務、オフィス出社、あるいは時短勤務や業務委託など、多様な働き方の選択肢を用意することで、一人ひとりのライフスタイルや価値観に合った活躍の機会を創出しています。
こうした取り組みにより、女性が多く活躍する組織を実現するとともに、北は北海道から南は沖縄まで、都市部はもちろん離島からも、「ボーダレスワーク」の推進を志す仲間が集結。住む場所や働き方の違いを超えて、共通のビジョンのもとで力を発揮する、多様性に富んだ組織を築いています。 LASSICは、テレワークを始めとする柔軟な働き方を、単なる福利厚生や人事制度ではなく、「優秀な人材の獲得と組織の競争力向上につながる重要な経営戦略」として位置づけています。



＜共通のビジョンのもとに全国から集った、テレワークメンバーも多数＞

■ 3．成果
苦労した点・パンデミックによる転機
――人口最少の鳥取から東証TPM上場へ！
「自分らしく働く」を体現するLASSIC 20年の歩みと未来

創業から20年を迎えた2026年、東証TOKYO PRO Market上場を果たしました。2018 年にはリモートワーク専門ジョブエージェント「Remogu（リモグ）」を開始しましたが、当初は企業のテレワークへの理解が得られず苦戦。しかし、2020年のパンデミックにより社会全体の意識が一変し、同社が培ってきた14 年分のリモート（遠隔）開発・テレワークでの業務ノウハウとインフラが一気に活きる転機となりました。テレワークで働きたい人々が急増し、Remoguへの登録者も大幅に増加しました。
2022年には、リモートワーク専門転職エージェント「Remoguキャリア」（現・リラシク）を開始。地方と都市部をつなぐ持続可能なマッチングモデルを確立しました。



＜2026年5月、東京証券取引所へ上場＞

■ ４．成功のポイント
テレワークの弱点を埋める「日常的に褒め合う文化」の形成
――「褒め合う文化」と高いエンゲージメントを育むLASSIC の組織術

出社・テレワーク混在の環境下での成果創出に向け、定量・定性の両面から環境づくりを徹底しています。
定量面では機械的な勤務・セキュリティ管理や勤怠の可視化システムを導入し、顧客に対する確かな信頼性と社員への抑止力を担保。定性面では年2 回のES（従業員満足度）調査を実施して組織の状態を客観視すると同時に、社員自ら企画するボトムアップでのバリュー（行動指針）浸透施策を多数実行しています。
特に「日常的に褒め合う文化」を重視し、社内イントラでのサンクスコメント投稿や表彰制度を設けることで一体感を醸成。出社中心の企業と変わらない高水準なエンゲージメント維持を実現しています。



＜社員が企画・推進する、「褒め合う文化」形成＞

■ ５．今後の展望
鳥取モデルを全国へ
――地方創生と「ボーダレスワーク」の更なる拡大

これまで蓄積してきた「ボーダレスワーク」の実績を武器に、さらなる事業拡大と社会課題の解決を目指します。鳥取で築いた成功モデルを全国47 都道府県へ水平展開し、地方創生への貢献度を高めていく構想です。特に、人手不足に悩みながらもテレワーク導入への障壁が高い地方の中堅企業に対し、自らが実践事例となって、テレワーク普及を強力に推進していきます。
また、雇用形態にとらわれない柔軟な働き方を打ち出し、女性をはじめ多様な人材が真に活躍できる社会の実現に向け、影響力を高めてまいります。
2022年から運営する「テレワーク・リモートワーク総合研究所（テレリモ総研）」においても、毎月実施する独自の調査結果をWEBメディアで継続発信し、テレワークの地位確立に貢献していきます。



＜テレワーク・リモートワーク総合研究所Webサイト＞

■ ６．メッセージ
場所や時間に制約されない働き方、つまりテレワークは出社回帰の今こそ地方が有利になる「ブルーオーシャン」です

昨今、多くの企業が出社回帰へ動いていますが、労働人口が減少する中で企業が持続的に成長するためには、テレワークを活用した地方人材や時間制約のある人材の獲得が不可欠です。
都市部での出社前提の採用市場は熾烈なレッドオーシャンですが、地方やテレワーク希望の優秀層に向けた採用市場はスカウトする競合も少なく、極めて有利に採用を進められる「ブルーオーシャン」です。
出社回帰の動きがある今こそ、あえてテレワークに挑むことで先行者利益を得て、迅速な事業成長を実現できる好機といえます。

✺文末データ
株式会社LASSICの公式ホームページ URL https://lassic.co.jp
コンタクト先 https://lassic.co.jp/contact/

▼リモートワーク特化型エージェントサービス
リモートワーク専門ジョブエージェント「Remogu」 URL https://remogu.jp/
└即戦力人材をお探しの法人様はこちら
URL https://lassic.co.jp/service/remogu/business/

リモートワーク専門転職エージェント「リラシク」（旧Remoguキャリア） URL https://relasic.jp/
└正社員をお探しの法人様はこちら
URL https://remogu.jp/business/

▼テレワーク・リモートワーク総合研究所
毎月の独自調査で、テレワーク・リモートワークの実態を定点観測する民間調査メディアです。
すべてのデータ・記事の転載・引用は、自由・無料でご利用いただけます。
テレリモ総研｜テレワーク・リモートワークの調査・データ研究機関
https://teleremo.lassic.co.jp